

「第2回 奥沢水源地 保存・活用検討委員会」意見交換内容

●奥沢水源地の現況特性について

- ・水管橋の手前から取水塔を眺めることができる場所もビューポイントの候補となる。(別紙ビューポイント図「追加①」参照)
- ・二股沢川右岸側のダム堤体の上部も周囲の景観を一望できる場所であり、ビューポイントの候補となる。(別紙ビューポイント図「追加②」参照)
- ・ろ過池周辺は、ゆっくりとたたずんでみたくなるような雰囲気の良い場所であり、ビューポイントの候補となる。(別紙ビューポイント図「追加③」参照)
- ・放水路の水の流れを眺めることのできる水源橋付近もビューポイントの候補となる。(別紙ビューポイント図「追加④」参照)

●基本方針、活用イメージ等について

- ・基本テーマの説明文には、奥沢水源地の環境の持つ力、それに関わってきた市民の経験を踏まえた内容を加えてほしい。
- ・見た目の風景づくりではなく、自然の大切さなどの内面をイメージできるような表現としてほしい。
- ・奥沢水源地の全容が学べる資料館のようなものがあるとよい。
- ・博物館とのタイアップやスマートフォン等を利用して、施設の解説が表示される仕組みが考えられる。
- ・古い水道施設をただ残すのではなく、何か工夫が必要である。
- ・水と触れ合える場としてほしい。
- ・水の有難さを感じ、自然と調和させることが大事である。
- ・普通の公園ではなく、あえて、「水」、「水道施設」にこだわったほうがよい。
- ・森があるので、ウォーキングの場となる。
- ・キャンプができればよい。
- ・施設の維持管理に要する費用が大きくならないようにすることが大事ではないか。
- ・子どもたちの環境教育の場となる。
- ・子どもたちが集まってくる、市民が寄りやすくなるような工夫が必要である。
- ・人が魅了されるような花があるとよい。
- ・基本構想は、将来をイメージしながら、実現できる内容がよい。



ビューポイント図



①旧堤体の眺め



②階段式溢流路



③堤体から貯水池を望む



④洪水吐からの眺め



⑤現在の貯水池全景



⑥広場から取水塔を望む



⑦引入口堰堤



ビューポイント追加写真

